

令和7年度第1回三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会 議事概要

開催日時：令和8年2月3日（火）18時00分～19時30分

開催方法：Web開催

出席委員：部会長 斎藤 洋一 他委員16名

欠席：委員3名

【議事概要】

（1）自殺対策について

＜事務局説明概要＞

資料1から資料3－2、別紙1に基づき、「三重県の自殺の現状について」「国の自殺対策の動向について」「第4次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について」説明を行った。

＜意見交換＞

- ・若年者を中心に心の不調から来るオーバードーズが大きな社会問題となっており、課題である。学校薬剤師が全ての学校で配置されていて、小学校・中学校・高校での薬の正しい使い方や危険性の啓発を目的に、最近ではオーバードーズ対策を重点に置いたお薬教室の開催を指示しているが、全ての学校で開催できておらず、課題である。また、不登校の子どもにどう伝えていくかも課題である。
- ・スクールソーシャルワーカーが不足しているという話が他県ではあるが、おそらく、通信制や定時制は全日制と兼任で配置されている可能性が高いが、実際に動けているのか、疑問である。
- ・初診の3割は10代から20代で、通信制の子どもが多い。受診につながっているのは一部で、高校を辞めた方の中にハイリスクになる方がいるので、そういった方に支援が行き届いていないのではないかという懸念がある。学校を辞めた方に、相談先が伝わる仕組みがあればいいと感じる。
- ・毎年、5月のゴールデンウィークと年末に、電話相談を行っており、9月は働く人の相談を受けているが、活動の周知が難しいと感じている。ポスターの掲示にご協力いただきたい。企業や団体でカウンセラーの活動を行っているが、メンタル不調が多い。ときには社員の方が自殺されて、ポストベンションで入ることもあるが、そうならないような事前の取り組みを企業と一緒に考えて、心の健康づくりの一環として、社内に相談できる場の設置を進めている。